

2-1 2.地域別の環境の状況

(1) 川内・応神地域

徳島市の北部に位置する当地域は、北側に今切川、南側に吉野川が東西に流れる平地で構成された地域で、水田やハス田、野菜などのハウス栽培が多くみられる農作地帯です。

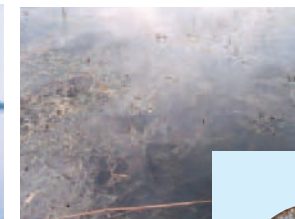
一方、徳島自動車道と南北の幹線道路である国道11号が結接するほか、四国横断自動車道や徳島東環状線の整備も進められるなど交通の利便性が高く、化学工場や産業団地なども多く立地する地域です。また、東端には紀伊水道に面する小松海岸があり、海水浴場、釣り、サーフィンなどの場として利用されているほか、吉野川や今切川などを含めた水辺の自然環境が多く存在する地域です。

水田やハス田では、近年、全国的に生息数が減少しているトノサマガエルが多くみられるほか、タシギなどの鳥類が採餌する姿もみられます。今切川の上流は淡水域で、河川敷にはヨシやオギの群落が広がっており、カヤネズミやホンダヌキといった哺乳類が確認されています。緩やかな流れの水域には、クロモなどの水草が繁茂し、良好な河川環境にすむカネヒラをはじめとする、コイ科の魚類などが多くみられます。

また、小松海岸は、市域でも少ない砂浜海岸で、海浜性の植物であるコウボウムギやおヒョウタンゴムミシなどの昆虫がみられるほか、過去にアカウミガメの上陸・産卵・ふ化も確認されています。



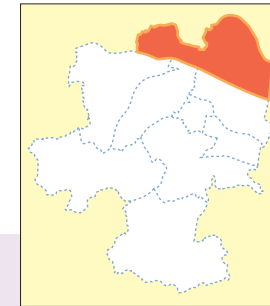
5 今切川



6 水中に繁茂するクロモ



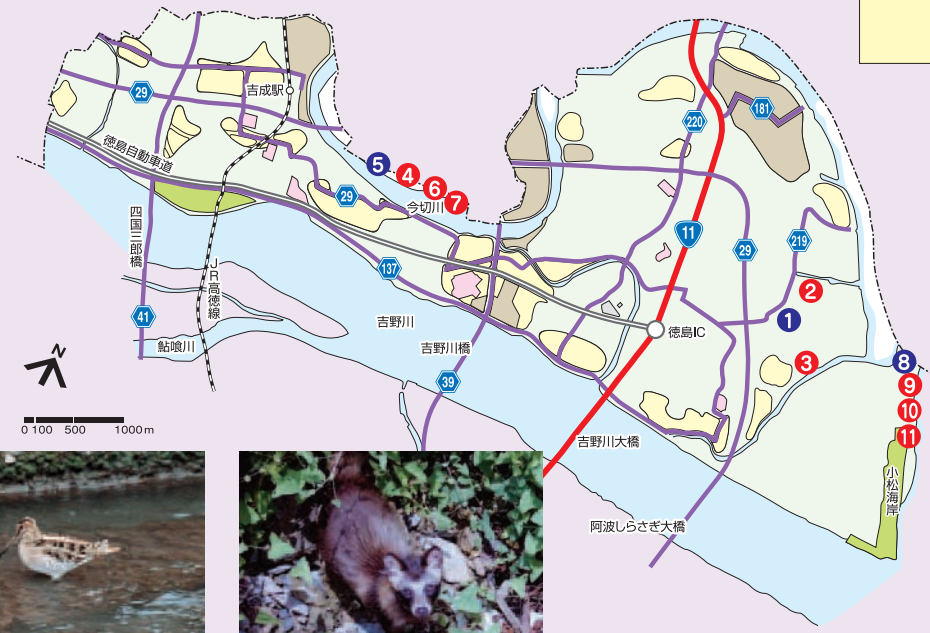
7 良好な河川環境の指標となるカネヒラ



8 砂浜が広がる小松海岸



1 ハス田



凡例

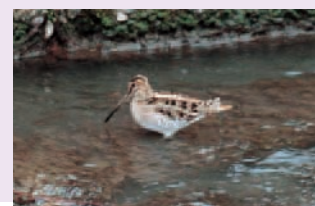
国道路	河川・水辺
県道	公園・緑地
高速道路	公共施設
住宅地・主な集落地	教育施設
工業地	JR・駅
団地集落地	



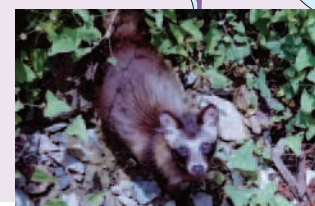
10 砂浜海岸に生育するコウボウムギ



2 生息数が近年減少しているトノサマガエル



3 水田や湿地に生息するタシギ



4 郊外住宅地周辺から山地に生息するホンダヌキ



9 海浜植生のある砂浜に生息するオオヒョウタンゴムミシ



11 砂浜で産卵するアカウミガメ